

## 第2回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会議事要旨

1. 日時：2017年10月30日（月）9:30～12:30
2. 場所：国立情報学研究所 20階実習室
3. 議事：
  - 1 第1回議事要旨案およびメール審議結果について
  - 2 対外会議での報告状況について
  - 3 JPCOAR 会員機関参加状況報告
  - 4 作業部会およびタスクフォースによる中間報告
  - 5 各担当（総務・財務・企画・渉外・国際）による中間報告
  - 6 予算執行状況および予算再編案について
  - 7 JPCOAR 会則の改訂について
  - 8 共同リポジトリに関する会費について
  - 9 JPCOAR 事務取扱および運営委員会の運営に関する申し合わせ案について
  - 10 ドキュメント類の公開について
  - 11 2017年度総会開催について
  - 12 NII からの報告
  - 13 その他
    - 1 入会希望機関対応について
    - 2 2018年度事業計画について
    - 3 非参加機関の有料での研修参加について（報告）
    - 4 SCPJ について
4. 出席者：

（委員）

島 文子	北海道大学附属図書館事務部長
岡部 幸祐	筑波大学学術情報部長
荘司 雅之	早稲田大学図書館事務部長
熊渕 智行	東京大学附属図書館総務課長
増井 ゆう子	国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター事務室副室長
鈴木 秀樹	京都大学附属図書館 図書館企画課長
佐藤 翔	同志社大学免許資格課程センター 助教
原田 博英	神戸市外国語大学学術情報センターグループ長
加川 みどり	神戸松蔭女子学院大学図書館
尾崎 文代*	鳥取大学学術情報部図書館情報課長
山本 和雄	琉球大学附属図書館事務部長
山地 一禎	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター長／コンテンツ科学研究系准教授
小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課課長

\*尾崎委員はTV会議参加

（監事）

宇佐見 博	立教大学図書館事務部長
森 いづみ	信州大学附属図書館管理課長

(陪席)

江川 和子 国立情報学研究所学術基盤推進部次長  
小陳 左和子 国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長

(事務局)

船山 桂子 国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室係長  
丸山 寛 国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究成果整備  
チーム事務補佐員

(欠席)

鈴木 正紀 文教大学越谷図書館長補佐  
高橋 菜奈子 千葉大学附属図書館利用支援企画課長

<資料配布>

1. 第1回議事要旨案
2. メール審議結果について
3. 対外会議での報告状況について
4. JPCOAR 会員機関参加状況報告
5. 作業部会およびタスクフォースによる中間報告
6. 各担当（総務・財務・企画・渉外・国際）による中間報告
7. 予算執行状況および予算再編案について
8. JPCOAR 会則の改訂について
9. 共同リポジトリに関する会費について
10. JPCOAR 事務取扱および運営委員会の運営に関する申し合わせ案について
11. ドキュメント類の公開について
12. 2017 年度総会開催について
13. NII からの報告
14. 入会希望機関対応について
15. 2018 年度事業計画について

<参考>

1. オープンアクセスリポジトリ推進協会会則
2. オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程
3. オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程
4. オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会設置規程

<机上配付>

SCPJ について

JPCOAR Newsletter: CoCOAR 創刊号

JPCOAR スキーマ広報リーフレット

## 5. 議事

- (1) 第1回議事要旨案およびメール審議結果（2017年6月以降）について  
岡部委員長より資料1について、次いで事務局から資料2について説明があった。  
これらについて委員会終了までに意見等は出されず、承認された。
- (2) 対外会議での報告状況について  
岡部委員長より、資料3に基づいて対外会議における JPCOAR についての報告状況の説明が

あった。

(3) JPCOAR 会員機関参加状況報告

事務局より、資料 4 に基づき 528 機関の参加があることが説明された。

これについての意見はつぎのとおり。

- 環境提供を受けた後に運用を断念した場合の、当該機関登録コンテンツの取り扱いについて、検討が必要になる。

(4) 作業部会およびタスクフォースによる中間報告

各作業部会およびタスクフォース主査より、資料 5-1~5-7 に基づいて 10 月までの活動状況と今後の予定について報告がなされた。

(5) 各担当（総務・財務・企画・渉外・国際）による中間報告

総務・財務担当については、小野委員から資料 6-1 に基づき、JAIRO Cloud 申請機関のうち JPCOAR 未参加機関への督促対応として、未納会費の取り扱いおよび除籍した場合の残存コンテンツ取扱いについての説明と、資料 6-2 に基づき監査実施時期と総会開催時期の不一致について説明があった。また、国際担当として山本委員から海外会議への派遣について報告があった。

(6) 予算執行状況および予算再編案について

小野委員により、資料 7 に基づき説明があった。年度当初予算案での執行状況のほか、追加要望を受けた予算再編案が提示され、これについて承認された。また、会員機関の増加に伴う会費総額の増加が説明され、予算再編案に基づく執行のほか、事務局対応人件費に充てるとする提案があり、承認された。

(7) JPCOAR 会則の改訂について

現在の JPCOAR 加入要件には JAIRO Cloud 利用を要件としており、この一体化により JPCOAR で判断可能とするよう会則整備を必要とすることを鑑み、小野委員から資料 8 に基づき説明がなされた。

対象箇所はつぎのとおり。

1. 会員資格の明確化（第 5 条）
2. JAIRO Cloud 利用機関の JPCOAR 加入が必須であることの明確化（第 5 条 2 号）
3. 監事の任期の変更（第 7 条 3 号）

これに対する意見はつぎのとおり。

- 会員資格に JAIRO Cloud 利用を含めず別項目とするか、文言を修正してはどうか。
- JAIRO Cloud 利用料金は NII が決めるものではないか。
- 料金設定については、利用している現状との乖離があると反発が予想されるので、その対応はあらかじめ考えておくべきではないか。
- 監査は会則 13 条二に基づき通常総会において承認を得るので、臨時総会での承認も考えるならば、13 条を変更してその旨を追加した方がよい。

また、JAIRO Cloud 利用申請における構成員と実際の機関リポジトリ登録者は同人数となるものではないことを確認した。

1. および 2. は今後も現在の加入要件にあたらぬ機関からの参加申込が予想され、同案に基づき対応することが承認された。3. は、監査実施後の承認について会則を確認する必要があるなど、更なる

検討を要するのではとの意見があった。これらについては担当が再検討の後、次回委員会に提出することとした。

(8) 共同リポジトリに関する会費について

複数の機関から、それぞれが所属する組織による JAIRO Cloud を利用しての共同リポジトリ運用についての問合せがあったことについて、共同リポジトリ利用の会費をどのように算出するか、資料 9 に基づき小野委員から説明があり、これを承認した。

(9) JPCOAR 事務取扱および運営委員会の運営に関する申し合わせ案について

岡部委員長から資料 10 に基づき、2 件の申し合わせ案の説明が行われた。

資料 10-1 JPCOAR 運営委員会の運営に関する申し合わせ

資料 10-2 JPCOAR 事務処理に関する申し合わせ

これに関する意見はつぎのとおり。

- ▶ 10-1 はメール審議に偏っているため、通常審議をどのように行うのか不明。
- ▶ メール審議が曖昧な扱いなためにこの申し合わせを作るのであれば、通常審議にそろえたものとして作成してはどうか。
- ▶ もっと簡潔なものとしたほうがよい。

同議事は、審議の結果を踏まえて一部修正を行うこととした。

(10) ドキュメント類の公開について

尾崎委員から資料 11 に基づいて、協会ウェブページで公開するドキュメント類の取り扱いについて提案があり協議の結果承認した。また、会議資料についてはつぎのとおりとすることとなった。

- ・ 運営委員会については、議事次第および議事録を公開とする
- ・ 総会については、議事次第、議事録ほか全資料を公開とする

(11) 2017 年度総会開催について

岡部委員長から資料 12 により、今年度総会は 2018 年 3 月 14 日（水）に一橋講堂にて開催することが報告された。また、協会活動報告として、総会での作業部会およびタスクフォース成果報告を行いたいとの提案があり、了承された。各作業部会タスクフォースへは改めて依頼することとする。

(12) NII からの報告

小野委員から資料 13 に基づき、つぎの 4 件について報告があった。

- ・ **RDM トレーニングツール拡張タスクフォース設置**  
情報・システム研究機構プロジェクトにおいて、RDM トレーニングツールを機能拡張することとなり、研究データタスクフォースメンバーが参加する。
- ・ **IRDB メタデータライセンス整備**  
国内外のサービスに利用される IRDB がハーベストするメタデータのライセンスについて規定等の改訂を行う予定である
- ・ **次期 JAIRO Cloud 開発共同タスクフォース設置**  
次期 JAIRO Cloud 開発のために必要な情報を調査検討するため設置するタスクフォースに JPCOAR から 4 名の作業部会員を推薦し活動する
- ・ **データ開発基盤 (WEKO3) 開発プロジェクトについて**  
次期 JAIRO Cloud に使用する WEKO3 をリポジトリソフトウェア「Invenio3」を用いて開発する

### (13) その他

#### 1 入会希望機関対応について

事務局から資料 14 に基づき、入会を希望する機関の問合せ内容が説明された。

これらについては、議事 7・8 を踏まえて事務局が回答案を作成し、委員長確認のもとに回答することとし、了承された。

#### 2 2018 年度事業計画について

資料 15 に基づき、小野委員から 2018 年度事業計画として作業部会 TF の継続提案や活動案等の提出を主査に対し依頼するものとして説明があった。

次回運営委員会での審議を前提とし、12 月 15 日を提出期限としている。

#### 3 非参加機関の有料での研修参加について（報告）

研修を有料化した場合に想定される会計処理について、事務局より口頭で以下の報告があった。

- ・ JPCOAR における会計処理は NII の手続きを経るものとなっている。
- ・ 会費徴収には受講者ごとのデータ処理が発生する。
- ・ 受講者データの管理や入金確認および督促等、会計課と作業部会ともに負担が大きい。

これについての意見はつぎのとおり。

- 毎回の対応は実質困難である。
- 会費合計額が想定より増加しているため、これを有料化対応の費用に充ててはどうか。

#### 4 SCPJ について

現在 SCPJ サーバーを管理する筑波大学からの現状報告として、岡部委員長から説明があった。

これについては、

- JPCOAR が対応する案件であるのか
  - まず SCPJ を担当している機関がどう対応するかを決めるべきではないか
- との意見があり、岡部委員長からは内容を再整理することとする旨が示された。

次回運営委員会開催については、追って日程調整を行うこととする。

以上